教育家庭新聞

2020年（令和2年）

11月16日

月曜日

第2181号

神楽月・雪待月

勤労感謝の日（11/23）
大　雪（12/7）
冬　至（12/21）

第3月曜日発行

教育家庭新聞社
発行所＝〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL：03（3864）8241㈹
FAX：03（3864）8245
郵便振替口座　1309−53693
購読申込み　☎03（3864）8241 Eメール kks@kknews.co.jp
ホームページ　https://www.kknews.co.jp/
創刊 昭和36年7月 ©教育家庭新聞社　1部 480円

紙面案内

消費者教育・ＳＤＧｓ……2面
新型コロナウイルス感染症の拡大をうけて緊急事態宣言が発信された時期、真偽の入り乱れた情報が流布し食料・日常品の欠品が起きた。不確かな情報を受け取った人の２割が、その情報に影響をうけた行動をとったり、他に拡散している。望ましい消費行動にはモラルと正しい情報が重要だ。

教育旅行・体験学習……3面
プラスチックやＰＥＴボトルの廃棄物が地球的課題となっている中、飲料メーカー等も課題解決に取り組んでいる。その一つ「ボトルからボトル」への水平リサイクルは CO_2 の削減となり注目されている。

ＰＴＡ活動特集……4・5面
会議や研究会がオンラインになる等、総会・大会等の集会中止はＰＴＡ活動に大きな変化をもたらしつつある。今期新たに選出された日Ｐと全高Ｐ連の各会長が、今後の会の在り方と運営方針を語った。

学校図書館……8面
第22回図書館総合展が11月１日、新型コロナウイルス感染症予防のため、オンライン開催へと方式を変更し30日まで行われている。オンライン図書館見学会やＷｅｂイベント、各出展団体では個別相談にも対応するなど、今までにない内容が盛りだくさんだ。

連載
教職員のメンタルヘルス　第72回…1面
学校給食は食育の教材　第65回…6面
健康育む保健室　第5回…7面
学校の感染症〈特別編〉　第17回…7面
学校図書館なるほどＱ＆Ａ　第61回…8面

■Twitter
@kyoikukatei

■KKS Webはこちら→

学校給食費公会計化 実施教委は26%

4割が実施予定なし

学校給食費の徴収・管理等の公会計化の実施状況は教育委員会による差が大きく、全体の実施率は26%に対し実施予定のない教委は42・9%にのぼり、業務システムの導入・回収の経費負担が支障になっている。教職員の負担軽減の一環として、私会計の移管を文部科学省が昨年7月「ガイドライン」をまとめ各自治体に要請したもの。

文科省は先ごろ「学校給食費に係る公会計化等の進捗状況調査」の結果を公表。学校給食を実施する学校を設置する1799教委のうち、公会計化を実施しているのは約4分の1にあたる438教委（26・0%）、実施・検討中の教委が524（31・1%）で、実施・検討中の合計で962（57・1%）だった。

一方、実施予定がないと回答した724教委（42・9%）はその支障理由として、「業務システムの導入・改修の経費」、「同運用の経費」、「人員確保」が上げられた。さらに「保護者との信頼関係のある学校が担った方が円滑」、「他市町村等の動向を見て判断したい」等の意見もあった。

教委の「公会計化」の進捗を県別にみると、最も進展している群馬県は76%で実施、準備・検討中が16%で合計92%まで進行。次いで高知県は実施59・4%、準備・検討中が15・6%で75%の進捗。実施率が最も低い佐賀県は実施、準備・検討中をあわせても23・5%の実施率だった。

学校給食費は従来では学校単位で会計処理する「私会計」とされ、学校が徴収・管理業務を担っていたため、滞納する保護者への督促業務を教員や事務職員が行った。学校本来の業務である学習・生徒指導にあてるべき時間・労力の妨げとなることもあった。

「公会計」とすることで自治体が他の徴収・管理業務と併せて集中することが可能になるという。公会計化のメリットでは、教員の業務の負担軽減、徴収効率の向上があげられる。また共同仕入れ等で購入費用の削減や円滑な献立作成、運営につながるという。

さらに保護者メリットもある。私会計では指定金融機関での振込・振替だったため、子供の入学時に口座の開設手続きをとらなければならなかった。公会計では学校指定以外の金融機関からの納付が可能なうえ、自治体によってコンビニやネットでクレジットカード払いも受け付ける。

給食費の公会計化比率が高い都道府県（%）

都道府県	導入	検討	合計	予定なし
群馬	76.0	16.0	92.0	8.0
高知	59.4	15.6	75.0	25.0
千葉	58.2	20.0	78.2	21.8
秋田	57.7	23.1	80.8	19.2
沖縄	57.1	16.7	73.8	26.2
岩手	52.9	32.4	85.3	14.7
山梨	52.2	21.7	73.9	26.1
兵庫	46.3	39.0	85.4	14.6
北海道	45.9	27.4	73.2	26.8
和歌山	40.7	14.8	55.6	44.4
滋賀	40.0	40.0	80.0	20.0
鳥取	30.0	15.0	45.0	55.0

児童生徒の問題行動等

文科省調査 いじめの増加は小学校で顕著

小・中・高等学校等の認知された令和元年のいじめ件数は全体で61万2496件あり、前年度より6万8563件増加。特に小学校では前年度より5万8701件と大幅に増えた。いじめを認知した学校数は全体の82・6%にあたる3万5883校。文科省が10月末公表した「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」で明らかになった。

校種別のいじめ認知件数は小学校48万4545件（前年度42万5844件）、中学校10万6524件（9万7704件）、高等学校1万8352件（1万7709件）、特別支援学校3075件（2676件）。児童生徒1000人当り46・5件で、前年度40・9件より増加した。

いじめの内容は「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」といった言葉による〝口撃〟が最も多く全体の6割を占めた。次に「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする」等の軽めの身体接触が2割、「仲間はずれ、集団による無視」といった集団での精神的圧迫が1割強あった。昨今のニュースで注目されている、SNS等ネット上での誹謗中傷への対策が求められるが、「パソコンや携帯電話等でひぼう・中傷や嫌なことをされる」は全体では2・9%で少数だが、学校へのスマホ持ち込みが許容されている学校が多い高等学校では18・7%で2割近い。

いじめの内容（%）

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援	全体
冷やかしやからかい，悪口や脅し文句，嫌なことを言われる	61.0	66.4	61.7	54.4	61.9
仲間はずれ，集団による無視をされる	13.9	12.4	16.2	7.3	13.7
軽くぶつかられたり，遊ぶふりをしてたたかれたり，蹴られたりする	23.6	13.7	9.8	22.0	21.4
ひどくぶつかられたり，たたかれたり，蹴られたりする	5.7	4.5	3.6	6.9	5.4
金品をたかられる	0.9	1.1	2.6	2.3	1.0
金品を隠されたり，盗まれたり，壊されたり，捨てられたりする	5.6	5.2	5.3	4.5	5.5
嫌なことや恥ずかしいこと，危険なことをされたり，させられたりする	8.4	7.3	6.7	8.4	8.2
パソコンや携帯電話等で，ひぼう・中傷や嫌なことをされる	1.2	8.1	18.7	8.1	2.9
その他	4.6	3.1	5.2	6.7	4.3

コロナ禍と読書量 25%が「増えた」

日本財団

日本財団が10月23日公表した「18歳意識調査『第30回 読む・書く』」によると、回答者の6割近くが「読書が好き」と回答、コロナ禍の読書量への影響は「増えた」が25%、「減った」は6%にとどまった。このうち読書好きは38・4%が「増えた」、「減った」は3・9%で影響は

より顕著だった。

調査はインターネットで9月末から1週間、全国17〜19歳男女が対象で回答1000サンプルだった。

読む書くの関連で、書くことが「好き」と回答したのは、読書が好きな層で39・4%、どちらでもない層は17・1%、嫌い層では9・4%だった。好き層は嫌い層の4倍で、読書好きほど文書を書くことも好きな傾向が明らかになった。

運動実施率が向上

スポーツ庁体力調査

スポーツ庁の「体力・運動能力調査」（令和元年度）によると、青少年（6〜19歳）の体力・運動能力はここ10年間ほぼ横ばい又はやや向上する傾向。50年前と比較した運動・スポーツ実施状況の比較では、特に女子の実施状況が大きく変化、11歳女子の「実施していない」率は46・4%から5・3%になった。

国民の体力・運動能力の現状を把握するため小学生から青少年・成年・高齢者までを対象に昨年5〜10月（小〜高校生は5〜7月）の間に実施したテスト項目の合計点数で、全体の傾向として女子は中学生年齢でピークレベル、男子は高校生から成人にかけてピークに達する。

青少年では、体力・運動能力の水準が高かった昭和60年頃との比較で今回上回ったのは、中学・高校男子の50メートル走。握力、持久走、立ち幅とび、ボール投げはいずれも下回った。一方、この10年間では男女ボール投げ、中学・高校男子の握力が低下する傾向があるが、他の項目は横ばい又は向上している。

運動・スポーツの実施率を約50年前にあたる昭和43年と比較したところ、男女各年代を共通して「実施している」が「実施していない」を大きく上回った。特に11歳女子の「実施していない」率は、50年前の46・4%から今回5・3%、13歳女子で38・2%から5・9%と、共に32ポイント減少。誰もが親しめるスポーツ環境が整ってきたためと言える。

【7面に続く】

国語が「乱れている」66%が同意

文化庁国語意識調査

今の国語が「乱れている」と思う人が66%だった一方、「乱れていない」と思う人（30%）は「言葉は時代によって変わるもの」「いろいろな言葉や表現がある方が自然」といった理由だった。文化庁は先ごろ「国語に関する世論調査」（令和元年度）を公表。全国16歳以上の男女を対象に今年2月〜3月実施、1994人の有効回答数だった。

「非常に乱れている」（10・5%）と「ある程度乱れている」（55・6%）を合計すると66・1%が「乱れていると思う」だった。一方「全く乱れていない」（2・4%）と「余り乱れていない」（27・8%）を合計すると「乱れていないと思う」が30・2%だった。

過去の調査と比較すると、「乱れていると思う」は平成11年度85・5%だったが、それ以降は減少が続いている。前回の26年度からは約7㌽減少した。

教職員メンタルサポートネットワーク協会

教職員のメンタルヘルス

第72回

連載　解決への**手法**と周囲の**心得**

私が中学校教諭になって3年目頃。当時中学2年生の担任をしていた私は、日課の「子供を迎える準備」を行っていました。毎朝、出勤後にまず生徒玄関へ行き、下駄箱の掃除から始まり、教室内外の簡単な整理整頓等を行うことで、子供たちが気持ちよく朝のスタートを切れるようにするための準備。隣のクラス担任だった今は亡きH先生（私にとっては教師のイロハを教わった恩師）の行動を模倣したものでした。

ある日、いつものように教室の整理整頓を行い、流し場でH先生と一緒にモップを絞っていると、H先生は次のように囁きました。

教員が子供を「受け入れる」とは

「相変わらず、おまえは子供に冷たいな」。その時は聞き流してしまいましたが、後になるほどその言葉が心にひっかかり、その言葉の意味を考えてみましたが、自分の中で納得いく答えが見つかりませんでした。

H先生のクラスの生徒は朝清掃を楽しそうに手伝っているし、休み時間や放課後になると、反社会的傾向の強い生徒たちが、H先生の元に近寄ってきて、毒づいたりちょっかいを出すのです。それに対してH先生が言いたいことを返しても、子供たちは決して反発などをしないばかりか、嬉しそうな表情をしながら立ち去っていくのです。

■子供への接し方に疑問

その一方で私は、毎日一人ぽつんと朝清掃をやっており、自分に接触してくる子供といえば、部活動関係の生徒がほとんど。「子供に冷たいな」の言葉とともに、あの〝個性的な子供たち〟となぜ気さくに話ができるのだろうか?という疑問が私の中で日に日に大きくなっていきました。

1か月が経過した頃、どうしても「子供に冷たい」という言葉の意味を知りたくなった私は、朝清掃をしているH先生に思い切って尋ねてみました。すると次のような答えが返ってきました。

「子供はなぜ教師の言うことをきくようになるかわかるか?」。「子供は普段から自分の話を最後まで聴いてくれる先生だから、きこうかなという気持ちになるものだ」。「普段から子供に話しかけ、一緒に行動し、面倒見てやることは、多大なエネルギーや忍耐力を要するが、今まで子供の面倒見て来た時間の積み重ねがあるからこそ、いざという時に子供に対して遠慮なく自分の思いを伝えられるものだ」と諭すように教えてくださいました。

■子供受け入れる覚悟

自分の言いたいことを子供に伝えるためには、ある程度、子供の「ありのままの姿」や「理不尽な振る舞い」も受け入れる覚悟が教師には必要です…といってもこれも程度問題ですが。しかしなかなか難しいようです。

例えば、教育相談員の地道な努力で、不登校だったA君がやっと修学旅行に参加の意思を表明しました。でも学級担任が「修学旅行までに3回登校出来たら連れて行ってやる」という条件付きの愛情を示され、再び学校から遠ざかってしまいました。

最近「子供が何回言ってもいうことを聞かない」という教員の愚痴をよく耳にします。ただ毎日、同じことを繰り返し怒っている教師と、「しょうがないなあ、出来るまで待っていてあげるから」という思いを半分持ちつつ、同じ事を忍耐強く言い続けている教師とでは、子供が担任に対して抱く安心感には雲泥の差が生ずるようです。

また、教師が子供と約束をする際には「守るのが当然である」という前提がありますが、子供の中には「約束を破りながら成長する」子供もいるのではないでしょうか（こういう考え方も出来る教員に）。毎日同じことを怒鳴るのも、時には子供に裏切られるのも、教師の給料の一部に入っていますから（笑）。

……

筆者＝土井一博（どい・かずひろ）順天堂大学国際教養学部教職課程客員教授、教職員メンタルサポートネットワーク協会代表、埼玉県川口市教育委員会教職員メンタルヘルスチーフカウンセラー

列・島・視・界

新型コロナウイルス感染症の感染者数が、秋の深まりとともにじわじわと増えている。ウイルスは乾燥期ほど拡散しやすいため、専門家をはじめ関係各機関が早くから警報を発していた。学校でのクラスター発生も然り▼3密の回避策の一つ、部屋の窓開けによる換気は、寒さに向かうこれからの時期、実行するには勇気が必要だが心掛けたいもの。一方、これまでのところでは換気が習慣として定着したと言ってよさそう。ダイキン工業が「11月9日（いいくうき）」の日にちなんで10月下旬に行った「換気に関する意識調査」では、約84%が「換気ができている」と回答した▼今年4月に実施された同調査では74%だったので、withコロナのこの半年間で10ポイント上昇したことが鮮明。「新しい生活様式」が定着し、「窓開け」はほぼ習慣化したようだが、寒さに向かうこれからの時期、窓開け換気をしたいとの回答は75%に減少している▼寒冷期の窓開け換気のポイントは、開ける前に室温を高めに設定し、30〜60分に1回5分程度の小まめな開放。そして空気の通り道を作るため、窓だけに限らず出入口や通風孔等の2方向を開放するよう、同社HPに説明がある▼家庭と違い学校や職場等で窓がない環境の場合は、換気扇や扇風機等も活用した強制換気も必要に。今や扇風機の活躍の場は夏場だけではない。

S（エス）マークは、電気製品の安全・安心のマークです。Sマークのついた電気製品は、安全基準を満たしているので、安心してお使いいただけます。
Sマークは冷蔵庫・テレビなど約7割の電気製品についています。冷蔵庫の扉の内側やテレビの後ろ側などに表示されています。
電気製品認証協議会（SCEA）
〒105−0001 東京都港区虎ノ門1−8−10
TEL 03−5510−3211 FAX 03−5510−3213
http://www.s-ninsho.com/plaza/

私たちの食生活に欠かせない
食品添加物の役割をしっかりと認識しましょう。
小冊子を無償提供
日本食品添加物協会は、文部科学省の「総合的な学習の時間」の応援団に参加しています。応援活動の一環として、中学校や高校の家庭科の副読本としても使える小冊子「テンカちゃんの豊かな食卓」（写真左）や、一般消費者の皆様や大学で食品学などを学ぶ学生の方々向けに、食品添加物の全般についてわかりやすく説明した「もっと知ってほしい食品添加物のあれこれ」（写真右）を無償提供しています。
※各冊子の内容は毎年改定。詳細は当協会HPの学校応援団（トップページ「学校関係者の入り口」をクリック）をご覧ください。
※学校関係者向けに出前講座対応しております。（応相談）

中高用冊子

一般消費者・大学生用冊子
●食べものを長持ちさせてムダにしない
●食べものの味をよくする
●科学的な試験により安全性を確認
一般社団法人 日本食品添加物協会
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町4−9 小伝馬町新日本橋ビルディング6階
TEL 03−3667−8311 FAX 03−3667−2860
ホームページ https://www.jafaa.or.jp

広告に関するご意見はJAROへ
ホームページまたはお電話で。
JARO
東京 (03)3541-2811　大阪 (06)6344-5811
電話受付時間 9:30~12:00 / 13:00~16:00（土・日・祝日は休み）
広告・表示のフェアプレイを推進しています。
公益社団法人 日本広告審査機構